第31回海洋工学シンポジウム
「未来をひらく海 ～ 海の多様性を知ることができる2日間 ～」
開催日時：2025年3月17日（月）・18日（火）
開催場所：日本大学理工学部 駿河台校舎 1号館 5・6F

3月17日（月）

第1会場

10:00	GS1	底質土を対象とした強熱減量におけるカルシウムの影響	平野廣佑
10:20		季節変動を考慮したモデルによる海洋中汚染物質輸送機構の解明	柴田悠希
10:40		砕波帯内の底質移動と断面地形変化に関する研究	竹中健悟、鷲見浩一、中村倫明、小田晃
11:00		深層学習を用いたコメツキガニ巣穴検出に対するUAV飛行高度の検討	大原賢志，中村倫明，鷲見浩一，小田晃
11:20		海峡制海アルゴリズムの提案	堀芳樹
11:40		染色を利用したマイクロプラスチック簡易識別法に関する検討	嶺大空、石山拓実、宮島遼佑、小池義和、二井信行、鈴木雄大
13:00	GS2	浮体式洋上風車を想定した吊り下げ部を有する浮体式プラットフォームの波浪中動揺特性に関する研究	米田壮良，村井基彦，韓佳琳
13:20		TLP式の洋上風力発電設備への適用を想定した平行線ケーブルの疲労特性	渡邊茂，望月幸司，榊一平，鈴木実
13:40		一様流中の円筒回転体に働く流体摩擦力に関する数値解析	髙野　晋
14:00		小型スケール模型に基づくポイントアブソーバー型波力発電装置の発電性能評価実験　−第1報：実験手法の提案と検証−	安齋琉星，河岸立起，村井基彦，韓佳琳，李儁
14:20		小型スケール模型に基づくポイントアブソーバー型波力発電装置の発電性能評価実験 −第2報：制御戦略の追究−	河岸立起，安齋琉星，村井基彦，韓佳琳，李儁
14:40		浮体式波力発電を用いた実験的研究	生源寺 圭，鷲見 浩一，中村 倫明，小田 晃
15:00			
15:20	GS3	機械学習を用いた波浪予測モデルにおける回帰型・分類型手法の精度比較	浅井奎人，塩見拓省，山崎新，高畠知行
15:40		ネットワーク最適化モデルを用いた風車浮体のサプライチェーン設計に関する研究	下澤貴弘，和中真之介，満行泰河
16:00			
16:20	基調講演	「海洋温度差発電を核とした海洋深層水利用による「GXモデル」の現状と国際展開」 池上康之 氏（佐賀大学 海洋エネルギー研究所 所長/教授）	
17:00		「海の中の最も小さな生物因子「海洋ウイルス」の役割と多様性」 長崎慶三 氏（高知大学 理工学部門/農林海洋科学部 教授）	

第2会場

10:00	OS2 津波防災まちづくりの現状	津波避難の阻害要因となりうる鉄道線路の円滑な横断策に関する研究	寺口敬秀，桜井慎一，唐崎雄亮
10:20		防潮堤計画時の簡易アセスメントの提案	石橋遼祐，星上幸良
10:40		津波被災地域の住宅地再建における水辺空間の役割に関する研究 −名取市閖上地区と石巻市のぞみ野地区を対象として−	豊田侑生，菅原遼，江川香奈
11:00		北海道南西沖地震の医療救護活動からみた傷病者受け入れに関する考察	江川香奈
11:20		北海道奥尻町青苗地区における地域住民の住環境評価に関する研究	鈴木穣一、豊田侑生、菅原遼
11:40			
13:00	OS3 能登半島地震・津波の被害と防災への提言	能登半島地震（2024）における津波・海底地すべりの特徴と重畳海洋災害のリスク評価	村田一城
13:20		複合災害としての津波被害	星上幸良、髙橋浩二、菅原遼
13:40		激甚災害時の港湾機能継続を目的とした浮体利用の提案 −高松港を例として−	篠原大佑，末永慶寛，増田光一
14:00		多波長のSARデータを組み合わせた令和6年能登半島地震の建物被害度推定	浅田典親、田口智大、本田謙一、虫明成生、今井靖晃、西村智博、向山栄
14:20		地震動による建築物の被害状況	髙橋孝二，星上幸良，菅原遼
14:40			
15:20	GS4	新潟県内の港湾における津波挙動特性の把握	犬飼直之，永原優衣
15:40		海洋中の巨大波（Rogue wave）発生メカニズムの新たな提案	礒崎涼，関根康平，森本啓佑，片岡武

3月18日（火）

第1会場

10:00	GS5	浮体式洋上風力タービン建造のための浮体式洋上ファクトリの提案	影本 浩
10:20		PW-OWC型波力発電浮体の一次変換及び波漂流力の特性に関する基礎的研究	宮武竜希 居駒知樹 増田光一
10:40		垂直軸型ツイン風車のピッチ制御が一点係留浮体の風−波浪中の振れ回り運動に与える影響	福永勇太，居駒知樹
11:00		プロジェクティングウォール付振動水柱型波力発電装置の数値モデリングおよびダンピング係数の再検討	常睿遠，居駒知樹
11:20		浮体運動と連成する送電ケーブルの生物付着による水中挙動の変化に関する研究	上田雄大，村井基彦，韓佳琳
11:40		海洋のデジタルツイン実現に向けた画像AIによる複数の海藻種の自動分類技術	鈴木達也，伊集院和也，冨森英樹，近野患，境克司
13:00	OS4 海洋開発における多様なリスクの分析、評価とマネジメント	浮体式洋上風車の活用時代に向けて考えておきたいこと	村井基彦
13:20		沿岸部に立地する化学物質貯蔵タンクのリスクアセスメント	中山穣
13:40		次世代エネルギーシステムの社会実装を支援するリスク分析フレーム	澁谷忠弘
14:00		総合討論	
14:20			
14:40			
15:20	JAMSTEC中西賞受賞記念講演	海洋音響学会	黒山喬允、小笠原英子、森 和義
15:40		海洋音響学会	石島諒一
16:00		土木学会	田崎拓海、原田英治、後藤仁志
16:20		日本沿岸域学会	杉村佳寿、阿野貴史、三戸勇吾、岡田知也
16:40		日本水産工学会	中泉昌光

第2会場

10:00	OS1 海洋調査へのウォーターカラムイメージの活用	水路測量におけるウォーターカラムイメージデータの活用について	瀬尾徳常
10:20		海底火山調査におけるウォーターカラムイメージの活用について	南宏樹
10:40		水産資源調査におけるウォータカラムイメージの活用について	五味渕有花
11:00		深層学習によるウォーターカラム画像からの海底熱水活動の自動検出	見邨和英・玄田貴之・中村謙太郎・中谷武志・北田数也
11:20		ウォーターカラムデータの活用による海洋物理構造の3次元可視化	長澤亮佑
11:40		ケルビンヘルムホルツ不安定の三次元ウォーターカラムイメージ観測と三次元数値シミュレーション	堀之内龍一，沖野真也，John Hughes Clarke，長澤亮佑
13:00	GS6	岩手県久慈湾におけるマナマコの多栄養段階統合養殖試験と蝟集生物の多様性調査	吉田毅郎，向後香澄，周金コン，根本雅生，北澤大輔
13:20		剛体半閉鎖循環式生簀内の流動特性に関する実験的・数値的研究	王華勁，屠騰，韓ウン洲，高紅霞，周金コン，北澤大輔
13:40		Design of an automated fish guiding system using hose nets for fish resource control in set net fisheries	Yuhan Li, Yoichi MizuKami, Jinxin Zhou, Takashi Hosokawa, Kazuki Hirata, Daisuke Kitazawa
14:00		DOC（Direct Ocean Capture）に関する基礎検討	土田慶一，和田良太
14:20		深層学習による低波浪時の離岸流発生場所認識のための研究	犬飼直之，田邉修斗
14:40		航空レーザ測深とマルチビーム測深による海岸管理の高度化	薄葉有矢、雲岐信二、西村和真、森田圭吾、村上翔太朗、松本拓馬